

先着90名

慢性疼痛セミナー

慢性痛に効く 運動療法、心理療法 とは何か？

日時 2021.3/27[±] 13:00~15:30

形式 Web開催

共催 厚生労働省科学研究費補助金「慢性疼痛診療システム・人材養成モデル事業」
東京慈恵会医科大学麻酔科学講座

協力 株式会社コンベックス

司会：八反丸 善康（麻酔科学講座・助教）

- PROGRAM
- | | | |
|-------------|---|------------------------------|
| 13:00~13:05 | 開会の挨拶 | 倉田 二郎（麻酔科学講座・教授） |
| 13:05~13:35 | ① 慢性疼痛患者さんへの運動療法 | 荻野 有希（慈恵医大病院ペインクリニック、研究補助員） |
| 13:35~14:05 | ② 当院リハビリテーション科における磁気刺激療法（NEURO®）について | 石川 篤（慈恵医大病院リハビリテーション科、作業療法士） |
| 14:05~14:35 | ③ 慢性痛に対する心理的介入 | 平子 雪乃（慈恵医大病院ペインクリニック、研究補助員） |
| 14:35~15:05 | ④ 慢性痛に対するマインドフルネスの効果 | 荻島 大凱（早稲田大学博士、臨床心理士） |
| 15:05~15:25 | 総合討論 | 司会：倉田 二郎（麻酔科学講座・教授） |
| 15:25~15:30 | 閉会の挨拶 | 上園 晶一（麻酔科学講座・主任教授） |

参加登録はこちら

<https://mos-jp.net/convex/jikeipain/>

お問合せ

jikeipain@convex.co.jp

慢性疼痛セミナー

『慢性痛に効く運動療法、心理療法とは何か?』

【抄録】

1 慢性疼痛患者さんへの運動療法

慈恵医大病院ペインクリニック 研究補助員 荻野 有希

慢性疼痛患者さんの痛みや運動することに対する考え方を踏まえた上で、運動指導をする際のポイントをお伝えします。また実際に慈恵医科大学ペインクリニックで理学療法士が指導している運動療法をご紹介します。

2 当院リハビリテーション科における磁気刺激療法 (NEURO®) について

慈恵医大病院リハビリテーション科、作業療法士 石川 篤

リハビリテーション科では、脳卒中片麻痺患者に対し経頭蓋磁気刺激と集中的作業療法を併用した取り組みNEURO®を実施している。当科では疼痛に対する直接的な治療は実施していないが、NEURO®では痙縮にともなう痛みを訴える患者も見受けられる。当科におけるリハビリテーションの実際をご紹介します。

3 慢性痛に対する心理的介入

慈恵医大病院ペインクリニック 研究補助員 平子 雪乃

心理・社会的要因の影響が大きい慢性痛患者への支援では、痛み自体へのアプローチだけでなく、痛みに伴って生じる心理的・社会的問題へのアプローチが重要である。当科ペインクリニックにおける実践を踏まえ、認知行動療法を基礎とした慢性痛に対する心理的介入について紹介する。

4 慢性痛に対するマインドフルネスの効果

早稲田大学博士、臨床心理士 荻島 大凱

マインドフルネスとは、「意図的に、この瞬間に、価値判断することなく、注意をむけること」と定義される心のありようであり、瞑想などで体験される心理過程を表現したものである。うつ・不安に対して高い治療効果を示すことなどから、マインドフルネスを用いた介入は、近年学術的にも高い関心を集めているが、元々は慢性痛への応用を意図して体系化されてきた経緯がある。そこで本発表では、慢性痛に関するマインドフルネスの研究動向とその効果を、心理学における最新のエビデンスと共に紹介する。